

# 東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	学術連環
別タイトル	Academic linkage
作成者（著者）	瓜田, 純久
公開者	東邦大学医学会
発行日	2022.03.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 69(1). p.1 1.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	巻頭言
著者版フラグ	publisher
JaLDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.2021_043
メタデータのURL	<a href="https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD12823608">https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD12823608</a>

## 学術連環

瓜田 純久

東邦大学医療センター大森病院長

日本の書籍年間売上は1996年の1兆1,000億円から年々減少し、2020年には6,600億円まで落ち込みました。学術出版は学会論文誌と専門書がありますが、科学の細分化により学会誌が激増し、定期刊行物の購読料が高騰して図書館財政を圧迫する「シリアル・クライシス」に陥っています。研究者は論文誌を読むので精一杯となり、限られた問題に限られた前提を設定し、限られた結論を出す「閉じた研究」に安住してしまう傾向が強まっています。

17世紀までは「知っている状態または事実」を意味していたサイエンスを「観察や実験などの経験的方法に基づいて検証された法則的知識」と定義したのはホブズ(1651年)でした。17世紀までは単数形しか存在しなかったサイエンスですが、科学の細分化により複数形の表記が始まります。サイエンティストの言葉ができたのは1834年であり、ガリレオは自らの研究を哲学と呼び、ニュートンのプリンキピアは「自然哲学の数学的原理」でした。当時、物理学 physics の研究者は physician (医師) を名乗れないため、artist になぞらえて physicist (物理学者) という言葉が生まれました。17世紀までの大学では「自由七科」が基礎的の学問として教授され、機械技術に繋がる mechanical という言葉は思考を必要としない単純労働という階級的の侮蔑を伴った言葉でした。産業革命以降、mechanical は「正確な」という肯定的な意味へと変化していきます。フランス革命以後、軍事技術者養成のための高等教育機関が求められ、1794年パリに「理論から応用へ」を標榜した理工科専門学校が設立され、初代校長には数学者ラグランジェが就任しています。自由学芸から自然科学を取り入れた欧州の第2次科学革命は科学者を生み出し、高等教育機関が設立されて学会組織が整い、社会制度としての科学が形成されました。日本では明治の時代、この制度化された科学がパッケージとして輸入されており、科学を種子か

ら育てる苦勞なしにその果実だけを存分に味わったと言えます。国家のための学術は自主的に検討する姿勢を奪い、専門化・分業化へ邁進します。伊藤博文は明治12年の「教育議」において、「科学に没頭させることでノンポリにするのが高等教育の目的」としており、余計な口出しをしないタコ壺型専門家の育成を堂々と述べています。新型コロナ感染症における専門家会議の提言が軽んじられる行政の対応も、明治における日本の特異な近代科学導入の歴史を引き摺っているのかもしれませんが。

スイスの心理学者ピアジュは頭脳の発達段階として、12歳頃に具体的操作から抽象的操作に移る関門を通ると提唱しています。具体例から一般論、そして普遍的な法則を理解する過程ですが、この抽象化の習熟の偏りが科学の細分化を生み出しているのかもしれませんが。百科全書原語アンシクロペディアは「児童を学問の環の中に入れて教育する」を意味し、西周はこれを「百学連環」と訳し、「哲学」を造語しました。フランスの百科全書にあるダランベールの学問分類図(1751年)では、最上部に悟性(理解力)、次いで記憶(歴史など)、理性(哲学、自然、人間など)、想像(芸術など)が続きます。インディアナ大学のボーレンが作った学術地図(2009年)では文字盤中央に芸術があり、人文学と社会科学を介して医学薬学が9-10時方向に配置されています。対局の4時に微生物学、3時に化学、2時には物理が配置され、意外な印象を持ちますが、これらの中には哲学があり、「文と理は哲学を通じて連環する」とされています。原子力や環境問題、遺伝子工学など「科学に問いかけることはできるが、科学によって答えることができない諸問題」に踏み込んでしまった今、医学者はひたすら解を求めて学術連環を走り続ける覚悟が必要なのかもしれません。

DOI: 10.14994/tohoigaku.2021-043